



みんなの臨床スタイル

少し間が空いてしまいましたが、会報 306 号にて掲載したアンケートの続編です。
今回は施術における事故の経験などについて。

編集部メンバーのコメント

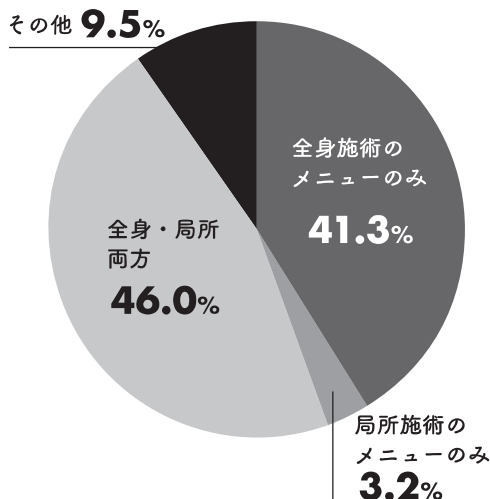
岡野：9割近くの方が全身施術のメニューを採用しています。その約半数の方は全身メニューのみです。鍼灸は人体を小宇宙と見る東洋医学的思考方に基づく治療法。だからこそ、これだけ多くの方が全身施術を中心にメニューを組み立てているのだろうな、と想像しています。

金井：全身メニューのみと全身・局所メニュー両方合わせれば87%が全身施術をしていることとなります。初診の方には局所メニューがある方が来院のハードル低くなる気がしますが、全身施術こそ東洋医学の真価を発揮できるのではないかと思うので、今後も全身施術重視になるのではないのでしょうか。

唐田：全身施術のみの先生方が多いことに驚きましたが、振り返ってみると306号で掲載したアンケート結果は流派ミックスの先生が24人、経絡15人、現代16人でした。本治標治どちらも対応できる全身施術強いですね。

伊藤：需要が多いメニューが採用されていることが多いと思うので、全身施術をされている先生が多いことから、全身を診てもらいたい患者さんが多いのかなと感じました。標本同治の考えや効果を実感している患者さんが多いと思うと嬉しいです。

施術メニューはどのように分けていますか？



施術時間はどれくらいですか？

初診施術平均時間 (分)	再診施術平均時間 (分)
65.59	51.71

各時間の回答件数

(分)	初診	再診
25	-	1
30	2	6
40	2	6
45	4	5
50	4	3
55	3	1
60	19	9
70	5	1
75	10	4
80	3	1
90	7	-
100	-	1
135	1	-

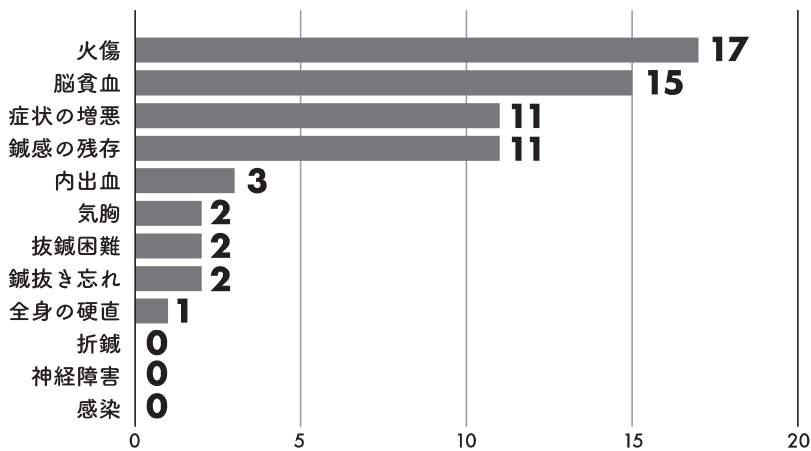
岡野：初診で75分とる方は再診では60分、初診で60分とる方は再診で30～50分くらいで収める感じかな？ と結果を見て思いました。開業か出張か、施術所のベッド数やスタッフ数など開業形態それぞれに合った初診、再診の時間がありそうですね。

金井：初診も再診も60分という回答が多いですね。これは予約枠がわかりやすく60分ごとに決まっているからということと関係しているのではないのでしょうか。

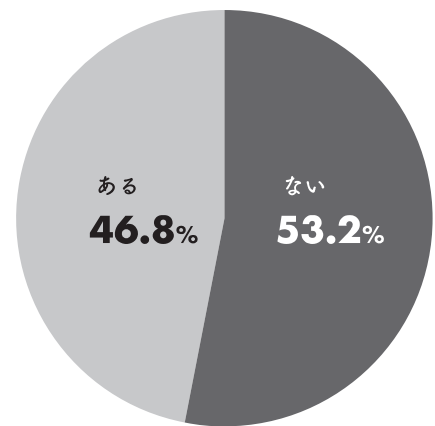
唐田：60分の枠単位の予約の先生が多いのかもしれませんがね。初診90分などの場合、料金体系はどうしておられるのか気になりました。

伊藤：全体的に初診は60～90分、再診は30～60分にウエイトがあることから、初診時の問診時間をしっかり取られている先生が多いのかなと感じました。あとは院のコンセプトによっても所要時間は変わってくるのではないかと思います。

どの種類の事故の経験 でしょうか？



施術において事故の 経験はありますか？



岡野: 半数弱が事故経験ありというのは驚きでした。事故と過誤を別に選択肢として入れていけば事故の内訳がもう少しわかりやすかったかもしれないですね。事故経験ありの方のうち最も多いのが火傷。火傷と言っても灸痕の化膿や水腫れ、灸頭鍼の落下や輻射熱による火傷などいろいろな状況が想像できます。いずれにせよ鍼だけでなくお灸の事故や過誤にもあらためて気をつけようと思いました。

金井: 事故の経験がないという方が過半数を超えるのに驚きました。恥ずかしながら私は苦い経験がいくつかあるのですが、あるからこそ普段から注意して施術しています。結果を見るとお灸を使用するかぎり火傷は常に気をつけないといけないとあらためて思われます。また、内出血が意外に少ない気がしました。瘀血体質の方はなりやすい印象があります。事故とよばないような軽度の内容は回答に反映されて

いないのかもしれないです。

唐田: 私も「ある」側の人間ですが、事故経験がない先生方がこんなにおられることに驚きました。あつてはいけないですが、この経験は糧になっています。事故内容はお灸施術での火傷はやはり起きやすいし、クレームにもつながりやすいかと思います。リスク管理や患者さんへの対応など、ヒヤリハット含めて気を引き締めていきたいと思っています。

伊藤: 半数近い方が事故経験ありということに驚きました。この結果を見て、誰にでも起こりうるのだと知ることができたので気をつけていきたいです。自分には事故の経験がない、と思っていましたが、脳貧血や鍼感の残存、内出血も事故なんですね。認識が間違っていました。火傷は湿を溜め込みやすい方に生じやすく、肌質によってはなりやすい方も多い印象なので気をつけたいです。

アンケートから見えてきたもの

少し間が空いてしまいましたが、306号に引き続き臨床スタイルについてのアンケートの集計結果を掲載させていただきました。今回は施術メニュー、施術時間、事故経験、事故の種類についてでした。皆さんはどのようにご覧になりましたか？

集計結果の読み取り方や受け止め方は各々異なりますが、特に事故経験の有無やその内容についての捉え方は、各自の臨床スタイルやこれまでの臨床経験などさまざまな要因が関

わって、コメントの相違点となっているのではないかな、と想像しています。

機会があれば事故経験、事故の種類アンケート結果をもとに「なぜそういう印象になったのか」を掘り下げて、どういところで事故のリスクが潜んでいて、どうすれば事故を予防できるのかを話し合ってみたいと思いました。 (編集部)